令和4年度　小･中学校教育課程研究協議会

「学ぶ喜び」につながる指導と評価の一体化

～社会科の資質・能力を育むことを目指し、「学ぶ喜び」につながる観点別の具体的な事例～

1　知識・技能

〈歴史的分野　単元名「明治維新と近代国家の形成」第８時〉

【小単元のまとめ】既習の知識を活用しつつ、明治維新の意味や意義についての概念的な知識が理解できているかについて評価した。

〔評価規準〕
明治維新が、日本の近代国家の基礎を整えていく過程であったことを理解している。

明治維新とは、列強から自分たち日本を守ることのできる十分な力のある国づくりを目指した動きだったと考えました。

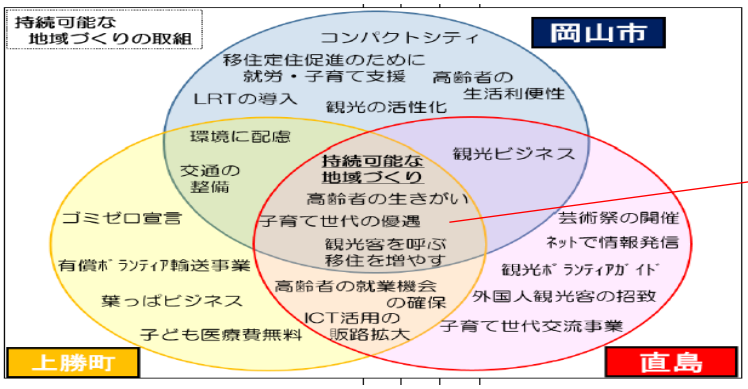
明治維新の目的とそれが果たした役割について説明できていれば「おおむね満足できる」状況（Ｂ）と考えられる。

2　思考・判断・表現

〈地理的分野　単元名「中国・四国地方」　第５時〉

【まとめる】中国・四国地方の各地域における持続可能な地域づくりの取組が、その地域における自然環境や産業などに関する事象と結び付けて考え、表現していることを評価した。

〔評価規準〕
中国・四国地方において、「人口減少が進み、人口の偏在が見られる中で、地域に応じた地域づくりの取組が、どのように進められているのか」を、都市部と山間部・離島の地域の広がりや各地域内の結び付き、人々の対応に着目して、特色ある自然環境や産業の様子、そこでの人口の偏在や持続可能な地域づくりの取組と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。



【（Ｂ）と評価される生徒の具体的な例】
「持続可能な地域づくりの取組」についてのベン図を作成する過程で、三つの地域で行われた具体的な取組を比較し、共通する地域的特色である「地域の実態に応じた、地域を持続させるための取組が行われていること」を見いだし、中国・四国地方の地域的特色をワークシートにまとめていると判断できた生徒については、「おおむね満足できる」状況（Ｂ）と考えられる。

3　主体的に学習に取り組む態度

〈公民的分野　単元名「世界平和と人類の福祉の増大」〉

【まとめる】学習した内容やそれに関連することの中から「これからも問い続けていきたいこと（追究していきたいこと）を挙げるとともに、その社会的意義を簡潔に記述しているか」を評価した。

（ワークシート）
【課題】世界平和と人類の福祉の増大のために、あなた自身にできることは何だろうか。これまで学んだこととあなたの身近な事柄を結び付けて解決策と行動宣言をまとめよう。
解決すべきこと（解決すべき理由）
解決策
行動宣言

「紛争やテロの問題を解決したい。全ての人々の安全保障が、わが国の安全とも深く関係していると思うので。」と書いたものは、「おおむね満足できる」状況（Ｂ）と考えられる。

（参考：国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」）